

フレッシュイレブン
よしき
 いきいきとたのしく

〈第37号〉
 令和3年3月25日
 発行責任者
 吉木校区コミュニティ
 運営協議会
 会長 波田 幸正



「コロナ禍の一年を振り返り」
 会長 波田 幸正

吉木校区の皆様、新型コロナウイルスの発生で日常の生活様式が著しく変わり、不自由さを大いに感じておられることとお察し申し上げます。

吉木校区コミュニティの活動も、感染拡大に伴って相当制限されました。

令和元年度の事業活動の総括を行う全体会の中に始まり、5月の定期総会、そして地域の風物詩として定着したホタル祭りも開催を断念いたしました。

役員会は何とか開催できましたが、「健康・福祉部会」「コミュニケーション部会」につきましては、感染防止の観点から事業活動の実施を見合わせました。

活動出来たのは「安全・安心部会」の防犯パトロールや子供たちの見守り活動など。

「環境部会」においては、乳垂川一斉清掃と吉木小学校の「オト

ト」の清掃だけです。
 では、今後の活動はどうなるでしょうか？

この原稿を書いている今、福岡県では緊急事態宣言を発出中です。緊急事態宣言が解除され、感染が落ち着いたらとしても発生以前の活動は出来ないと思われます。「新しい生活様式」に沿って、どの活動が出来てどの活動が出来ないか、年間行事の見直しが必要です。

最近、サルコペニアとフレイルという言葉を目にしました。サルコペニアは加齢に伴う筋力、身体機能の低下した状態を言い、フレイルは身体機能や精神機能の低下、社会性の低下によって心身が弱った状態を指すそうです。

新型コロナウイルスの影響で外出など控えるいわゆる「ステイホーム」によって、社会参加の機会



が極端に減ったり、動くことが少なくなり精神状態も低下しフレイルに陥ることが考えられます。予防するには、

- ① 栄養を摂ること
 - ② 運動を行うこと
 - ③ 社会参加を取り入れること
- このように運動や社会参加は、コロナ下において特に重要なことです。

校区コミュニティでは、感染防止対策の徹底を念頭に置き今後の活動計画を策定いたしますので、皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。



吉木校区コミュニティ年間行事

- (1) 安全・安心部会
防犯パトロール
地域防災
子どもの安全見守り
- (2) 環境部会
乳垂川を守り育てる
校区美化活動
環境についての意識涵養
- (3) 健康・福祉部会
健康づくり教室
地域ふれあい
- (4) コミュニケーション部会
ふれあいグラウンドゴルフ
ふれあいふる里めぐり
- (5) 事務局
広報誌発行
総会等会議の開催
他校区との交流会参加

安全・安心部会

部会長 日高 照久

「安全安心な町づくりを通して事件や事故のない地域づくりをめざす」

1 防犯パトロール事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学校が休校したことから、青パトによるパトロールは一時中断しました。

6月から、ひとチーム乗車人員を3名に制限させるとともに、消毒の徹底、マスクの着用など感染防止対策を行い、校区内のパトロールを再開しています。

新たに10名の方に参加協力をいただき、子どもの見守りや犯罪抑止に尽力しています。

令和2年度青パト乗車新規参加者 (敬称略)

飯干 和幸	鍵谷 剛一郎
貫野 春美	清川 信幸
林 誠	成松 邦久
	岩谷 宏幸
	増田 重美
	中村 哲夫
	花田 周一



2 防災事業

「吉木小学校の地震火災避難訓練に参加協力」

避難訓練に参加協力

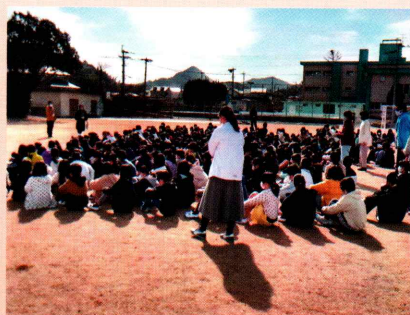
1月15日(金)吉木小学校で地震火災避難訓練が行われました。緊急地震速報直後に地震が発生、子ども達は、机の下で身を守る行動を起こしました。

その後、給食室から火災が発生、非常ベルが鳴り響くと子ども達は安全な通路から校外へ避難を開始。マスクの上からハンカチを口に当て、落ち着いた行動で避難場所の運動場へ集合しました。

全校生徒に対し、校長先生から「自分たちの行動はどうであったかチェックして、災害が発生した時にはこの経験を生かしましょう」と、訓練の大切さについてお話がありました。



ちなみに、安全安心部会から4名が参加し、避難誘導や見守り支援を行いました。



地震火災避難訓練の様子

3 子どもの安全見守り事業

「自治区・学校関係者と連携した活動」



通学路の横断歩道白線の補修

(三吉区)



「子ども110番の家」プレートの掲示活動



「区内徐行」の看板の設置 (塚原区)



「子ども110番のいえ指定地域」標識の立替



登校時の安全見守りに積極的参加

青パト運転手の募集

★活動時間

- ・火曜日の15時～17時
- ・土曜日の18時～20時

★活動内容

青パト車で吉木校区内を巡回します。

随時募集して青パト協力者を増やしていきます

環境部会

部会長 和田 敏子

校区美化活動

10月25日(日)に乳垂川一斉清掃を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクの着用や検温など「新しい生活様式」に沿って実施。

当日は子ども連れの参加者が目立ちましたが、総勢122名で短時間のうちに無事作業を終えることができました。

次回の清掃は、3月7日(日)の8時から行います。



乳垂川の一斉清掃活動



吉木小学校
ピオトープ
「ホタル川」清掃



ピオトープ「ホタル川」の清掃を7月・12月そして2月に行いました。
学校から、勝木校長、大久保教頭、宮本校務員の3名、吉木校区コミュニティからは、波田会長をはじめ10数名の部会員が参加し、川面をおおっていたフサモヤ川底の枯葉、枯枝などを1時間かけて取り除きました。
このような「乳垂川を守り育てる事業」の成果として、5月にはたくさんのホタルが飛び交う事を期待しています。



みんなのチカラで 松原をマモル

事務局長 宗岡 信之

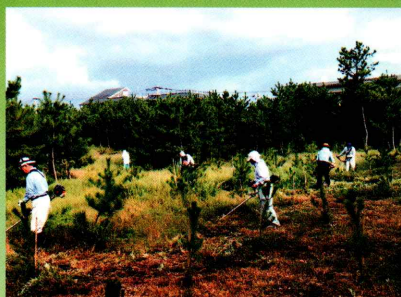
吉木校区コミュニティのメンバー10名が、松が育ちやすい環境を作るためのボランティア活動に取り組んでいます。

町が実施している「三里松原再生・保全活動」の一環として、波津駐在所前三角地帯の割り当て区画250坪の草刈りを年3回行っており、3年前に植樹されたクロマツは順調に生育しています。

みなさんも活動に参加しませんか。
連絡は中央公民館内事務所まで。



草刈り(松植樹区域内)



担当D区画地

手を取り育む 地域の輪

岡垣町立 吉木小学校

校長 勝木 久美

本校は明治7年創立以来、明治、大正、昭和、平成と激動の時代を過す中、大勢の卒業生に見守られ伝統を築いてきた歴史と伝統を自然豊かな誇りある学校です。就任当初から、本校で受け継がれている3つの『あ』『あんぜん』『あいさつ』『ありがとう』を掲げ、学校教育目標の達成を目指し日々教育活動を進めています。

そのためにも、最愛のパートナーである保護者の皆様や、最強のサポーターである地域の皆様にご理解とご協力をいただき、期待に応えられるよう、職員一丸となり学校運営に取り組んでいます。吉木校区コミュニティの皆様には、教育活動にご尽力いただいております。コミュニティは、それ自体を作ることが目的ではなく、機能させることが大切であると考えます。

会話が增えた、近所付き合いの利点を実感できたなど、学校とコミュニティ、地域と学校とのやり取りが増えるよう学校の役割をさらに深化し取り組んで参ります。

新しい年を迎えましたが、依然コロナ禍ゆえ、三密を避け、自粛の生活スタイルがまだ続きます。また、ワクチン接種のことやインフルエンザ、コロナ変異種など

新たな要素が加わり不安ではありますが、このような時だからこそ、学校は明るい気持ちを持ち続け、子どもたちの未来を、それぞれのゴールに向けて確実に一歩ずつ進んでいけるよう、「見守り、励まし、支え」て参ります。どうぞ今後とも、吉木小学校へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



登校時の見守り

「あんぜん・あいさつ・ありがとう」



芝生化実行委員会(グリーンプロジェクト)活動

岡垣町立 吉木小学校 教頭 大久保 崇

吉木小学校では、平成23年度に運動場の芝生化事業が始まりました。今では夏になると運動場一面が緑の芝生で覆われ、児童も休み時間には芝生の上で元気いっぱい体を動かしています。

芝生の維持管理については、学校運営協議会のメンバーをはじめ自治会(区)長・公民館長、吉木校区コミュニティ、吉木校区青少年育成会議、吉木小PTA、社会体育利用者など、たくさんの方々に関わっていただいています。

毎年、それぞれの代表者が集まり、芝生の維持管理に関する話し合い(グリーンプロジェクト会議)を年に数回開きながら活動を進めています。

特に、夏場の散水については、6月から9月にかけて、週に2日をPTAに、1日を自治区にお願いしています。

時間は放課後の17時30分から18時10分の40分間を目途に、作業を行っていただいています。

また、日常の管理として、肥料散布や除草剤の散布等のお世話があり、校務員が中心となって活動に取り組んでいます。

このように、多くの皆様のご協力のおかげで、毎年素晴らしい芝生の運動場を使うことができます。

「グリーンプロジェクト」活動の幹事役として、心より感謝申し上げます。



芝生の維持管理作業の様子



令和2年秋季大運動会の様子

